



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 フマキラー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4998 URL <http://www.fumakilla.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小谷 真弘

TEL 0829-55-2112

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 13,987 | △1.3 | 801 | 89.3 | 797 | 129.3 | 370 | 234.8 |
| 23年3月期第2四半期 | 14,176 | △8.0 | 423 | △79.6 | 347 | △83.3 | 110 | △90.5 |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 505百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △34百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 11.29 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 3.54 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 16,066 | 8,408 | 49.8 | 243.70 |
| 23年3月期 | 21,362 | 8,249 | 36.9 | 240.25 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,003百万円 23年3月期 7,890百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | — | — | 10.00 | 10.00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 23,280 | △0.8 | 780 | 23.1 | 860 | 34.6 | 380 | 32.2 | 11.57 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 32,980,000 株 | 23年3月期 | 32,980,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 137,370 株 | 23年3月期 | 137,534 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 32,842,239 株 | 23年3月期2Q | 31,262,244 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的な情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (4) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報等 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |
| (7) 重要な後発事象 | 12 |
| 4. 補足情報 | 13 |
| (1) 販売実績 | 13 |
| (2) 海外売上高 | 14 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

| 指標等 | 23年3月期 第2四半期累計 | 24年3月期 第2四半期累計 | 増減額 | 増減率 (%) |
|-------------|-------------------|-------------------|------|---------|
| 売上高 | 14,176 | 13,987 | △188 | △1.3 |
| 営業利益 | 423 | 801 | 378 | 89.3 |
| 経常利益 | 347 | 797 | 449 | 129.3 |
| 四半期純利益 | 110 | 370 | 260 | 234.8 |
| 1株当たり四半期純利益 | 3円 54銭 | 11円 29銭 | | |

(当期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)におけるわが国の経済は、東日本大震災後の停滞から回復途上にはありましたが、欧米諸国や新興国の景気減速懸念による世界的な景気後退への警戒感もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、経営理念である「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」の精神のもとに、コア事業の殺虫剤・家庭用品・園芸用品の成長カテゴリー市場を牽引する新価値創造商品を積極的に投入し、既存事業の強化を図るとともに、販売効率の向上・在庫削減・コストダウンなどへの取り組みによる収益力強化、及び海外事業の拡大強化などの課題に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.3%減の139億87百万円(為替変動の影響を除くと実質0.5%減)となりました。このうち、国内売上につきましては、主力の殺虫剤が、天候にも恵まれ好調に推移しましたが、家庭用品は前期に販売した花粉関連商品の返品が想定以上に多く売上がマイナスとなり、園芸用品も期初からの天候不順の影響や東日本大震災の影響により売上が減少したため、国内合計では前年同期比0.6%減の112億78百万円となりました。一方、海外売上につきましては、インドネシアの売上は伸長しましたが、欧州地域及び中近東地域の売上が減少し、前年同期比4.2%減の27億9百万円となりました。

売上原価は、製造原価のコストダウンに努めた結果、売上原価率が前年同期より2.4ポイント改善し65.7%となり、前年同期比4億69百万円減の91億88百万円となりました。

これらの結果、売上総利益は47億98百万円(前年同期比6.2%増)となり、返品調整引当金繰入後の差引売上総利益は46億72百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、運送費の削減や経費の見直しなどを行った結果、前年同期比2.4%減の38億70百万円となり、連結営業利益は8億1百万円(前年同期比89.3%増)、連結経常利益は7億97百万円(前年同期比129.3%増)、四半期連結純利益は3億70百万円(前年同期比234.8%増)の大幅な増益となりました。

なお、当社グループは、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は上半期を中心に多く計上されるという季節変動要因をかかえております。一方、人件費や諸経費(広告宣伝費のような政策費を除く)は固定費として、年間を通じてほぼ均等に発生するため、事業年度の四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

| | 23年3月期 第2四半期累計 | 24年3月期 第2四半期累計 | 増減額 | 増減率 (%) |
|------|-------------------|-------------------|------|---------|
| 殺虫剤 | 11,150 | 11,574 | 424 | 3.8 |
| 家庭用品 | 208 | △261 | △469 | — |
| 園芸用品 | 1,231 | 1,147 | △84 | △6.8 |
| 防疫剤 | 802 | 795 | △6 | △0.8 |
| その他 | 783 | 730 | △52 | △6.7 |
| 合計 | 14,176 | 13,987 | △188 | △1.3 |

殺虫剤部門につきましては、国内で需要が拡大している電池式やワンプッシュ式蚊取り、不快害虫用製品、設置型虫よけなどの成長カテゴリー市場に、電池式蚊取り「どこでもベープ」やワンプッシュ式の次世代蚊取り「おすだけベープ」、自動噴霧式の虫よけ「自動でベープ」、コバエ退治用の「おすだけベープ」、設置型虫よけ「虫よ

けバリア」などの新製品を投入した結果、これらの新製品が売上増に貢献し、殺虫剤の売上が増加いたしました。一方、海外におきましては、フマキラーインドネシア（株）、フマキラーアメリカ（株）の売上が増加しましたが、欧州地域及び中近東地域の売上が減少したことや、円高による為替の影響を受けたことにより、国内及び海外の殺虫剤合計の連結売上高は前年同期比3.8%増の115億74百万円（前年同期比4億24百万円増）となりました。

家庭用品部門につきましては、アルコール除菌剤関連商品の売上が前年より増加しましたが、前期に販売した花粉関連商品の返品により、家庭用品合計の売上高は2億61百万円のマイナス（前年同期比4億69百万円減）となりました。

園芸用品部門につきましては、期初からの天候不順の影響を受け園芸市場全体が不振だったことや、園芸代理店や販売店が東日本大震災の影響を受けたことにより需要期である春先の売上が減少したため、園芸用品合計の売上高は前年同期比6.8%減の11億47百万円（前年同期比84百万円減）となりました。

防疫剤部門は7億95百万円（前年同期比6百万円減、0.8%減）、その他の部門は7億30百万円（前年同期比52百万円減、6.7%減）でそれぞれ減収となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて52億95百万円減少し、160億66百万円となりました。主な要因は、プレーンズ・パーク建設などに伴う建設仮勘定が2億18百万円、投資有価証券が1億97百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が51億51百万円、たな卸資産が7億24百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて54億54百万円減少し76億58百万円となりました。主な要因は未払法人税等が5億16百万円、売上割戻引当金が2億11百万円、返品調整引当金が1億26百万円増加した一方で、短期借入金62億円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて1億59百万円増加し84億8百万円となりました。なお自己資本比率は12.9ポイント増加し49.8%となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（1）営業活動によるキャッシュ・フローの状況

営業活動によって獲得した資金は71億86百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益7億49百万円、売上債権の減少51億75百万円、たな卸資産の減少が7億37百万円あったことなどによるものであります。

（2）投資活動によるキャッシュ・フローの状況

投資活動に使用した資金は、3億90百万円となりました。これは定期預金の払戻による収入が1億円あった一方で、有形固定資産の取得による支出3億43百万円、投資有価証券の取得による支出が1億43百万円があったことなどによるものであります。

（3）財務活動によるキャッシュ・フローの状況

財務活動に使用した資金は65億48百万円となりました。これは短期借入による収入が15億70百万円あった一方で、短期借入金の返済による支出が77億70百万円あったことなどによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末における借入金残高は、前期末に比べ62億円減少して56百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加し、8億51百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

（通期の連結業績予想数値の修正）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 (円 銭) |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 前回発表予想 (A) | 24,300 | 1,140 | 1,200 | 690 | 21.01 |
| 今回修正予想 (B) | 23,280 | 780 | 860 | 380 | 11.57 |
| 増減額 (B - A) | △1,020 | △360 | △340 | △310 | — |
| 増減率 (%) | △4.2 | △31.6 | △28.3 | △44.9 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成23年3月期) | 23,473 | 633 | 638 | 287 | 8.98 |

当社グループでは、今後もお客様のニーズを捉えた付加価値の高い新製品の開発と継続的な改良、戦略的かつ重点的な経営資源の投入によるブランド力の強化、営業活動の強化によるお得意先との関係強化などに努めるとともに、成長性や利益性が見込まれる商品の販売に注力してまいります。

また、原材料などの仕入コストの上昇によるコストアップの抑制に取り組むとともに、経費の効率的な運用並びに在庫圧縮に努め、環境の変化に対応できる企業体質の確立に取り組んでまいります。

当社グループでは、最近の業績などを鑑み、上記の通り通期の連結業績予想を修正いたします。また、個別の業績予想につきましても同様に修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済・事業環境の変動などの事業リスクや不確定要因により、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用について一部の子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,542,659 | 2,696,459 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,163,947 | 2,012,660 |
| 商品及び製品 | 3,830,707 | 3,557,980 |
| 仕掛品 | 851,893 | 621,293 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,327,634 | 1,106,374 |
| その他 | 869,588 | 922,167 |
| 貸倒引当金 | △3,161 | △2,339 |
| 流動資産合計 | 16,583,269 | 10,914,597 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 800,750 | 786,004 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 783,054 | 777,251 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 150,062 | 141,565 |
| 土地 | 654,198 | 643,378 |
| リース資産（純額） | 11,196 | 9,616 |
| 建設仮勘定 | 134,481 | 352,778 |
| 有形固定資産合計 | 2,533,744 | 2,710,594 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 164,075 | 162,790 |
| 投資有価証券 | 1,960,439 | 2,157,540 |
| その他 | 132,785 | 134,925 |
| 貸倒引当金 | △20,974 | △20,334 |
| 投資その他の資産合計 | 2,072,250 | 2,272,131 |
| 固定資産合計 | 4,770,070 | 5,145,516 |
| 繰延資産 | | |
| 株式交付費 | 8,762 | 6,740 |
| 繰延資産合計 | 8,762 | 6,740 |
| 資産合計 | 21,362,102 | 16,066,853 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,902,352 | 3,889,018 |
| 短期借入金 | 6,257,272 | 56,568 |
| リース債務 | 3,160 | 3,160 |
| 未払法人税等 | 71,483 | 587,663 |
| 賞与引当金 | 207,670 | 199,166 |
| 売上割戻引当金 | 172,635 | 384,561 |
| 返品調整引当金 | 461,357 | 587,939 |
| その他 | 1,105,897 | 905,652 |
| 流動負債合計 | 12,181,829 | 6,613,731 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 8,036 | 6,456 |
| 退職給付引当金 | 160,870 | 208,140 |
| 役員退職慰労引当金 | 415,310 | 437,135 |
| 資産除去債務 | 8,340 | 8,418 |
| その他 | 338,446 | 384,448 |
| 固定負債合計 | 931,003 | 1,044,599 |
| 負債合計 | 13,112,833 | 7,658,331 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,698,680 | 3,698,680 |
| 資本剰余金 | 2,105,690 | 2,105,769 |
| 利益剰余金 | 2,630,843 | 2,673,143 |
| 自己株式 | △40,537 | △40,589 |
| 株主資本合計 | 8,394,677 | 8,437,003 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △194,788 | △152,101 |
| 為替換算調整勘定 | △309,372 | △280,988 |
| その他の包括利益累計額合計 | △504,161 | △433,090 |
| 少数株主持分 | 358,752 | 404,609 |
| 純資産合計 | 8,249,268 | 8,408,522 |
| 負債純資産合計 | 21,362,102 | 16,066,853 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 14,176,076 | 13,987,492 |
| 売上原価 | 9,657,731 | 9,188,546 |
| 売上総利益 | 4,518,344 | 4,798,946 |
| 返品調整引当金戻入額 | 357,993 | 461,357 |
| 返品調整引当金繰入額 | 485,447 | 587,939 |
| 差引売上総利益 | 4,390,891 | 4,672,363 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,967,391 | 3,870,849 |
| 営業利益 | 423,500 | 801,513 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,030 | 3,514 |
| 受取配当金 | 27,908 | 32,613 |
| 為替差益 | 8,421 | 5,356 |
| その他 | 36,930 | 36,243 |
| 営業外収益合計 | 80,292 | 77,728 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,324 | 11,496 |
| 売上割引 | 56,460 | 60,351 |
| 支払手数料 | 75,442 | — |
| その他 | 6,586 | 9,452 |
| 営業外費用合計 | 155,814 | 81,301 |
| 経常利益 | 347,978 | 797,941 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 6,316 | 2,794 |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,262 | — |
| 負ののれん発生益 | 10,270 | — |
| その他 | 5 | — |
| 特別利益合計 | 17,854 | 2,794 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 464 | 229 |
| 減損損失 | 25,000 | 4,806 |
| 投資有価証券評価損 | 21,804 | 24,508 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 1,067 | — |
| 社葬費用 | 29,268 | — |
| 設備移設費用 | — | 21,652 |
| 特別損失合計 | 77,605 | 51,196 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 288,227 | 749,539 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 344,675 | 628,271 |
| 法人税等調整額 | △231,912 | △308,659 |
| 法人税等合計 | 112,762 | 319,611 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 175,465 | 429,927 |
| 少数株主利益 | 64,741 | 59,203 |
| 四半期純利益 | 110,723 | 370,724 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 175,465 | 429,927 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △199,438 | 42,686 |
| 為替換算調整勘定 | △10,256 | 33,293 |
| その他の包括利益合計 | △209,695 | 75,980 |
| 四半期包括利益 | △34,230 | 505,908 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △99,660 | 441,795 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 65,429 | 64,113 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 288,227 | 749,539 |
| 減価償却費 | 281,379 | 209,230 |
| 減損損失 | 25,000 | 4,806 |
| のれん償却額 | 998 | 941 |
| 負ののれん償却額 | △10,270 | — |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 22,400 | 44,111 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △3,604 | △1,537 |
| その他の引当金の増減額 (△は減少) | 260,306 | 351,168 |
| 受取利息及び受取配当金 | △34,939 | △36,127 |
| 支払利息 | 17,324 | 11,496 |
| 為替差損益 (△は益) | △2,174 | △2,592 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 21,804 | 24,508 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | △5,851 | △2,564 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 4,514,311 | 5,175,647 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 1,957,750 | 737,246 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,415,532 | △28,396 |
| その他 | △12,423 | 75,340 |
| 小計 | 5,904,708 | 7,312,819 |
| 利息及び配当金の受取額 | 38,142 | 37,414 |
| 利息の支払額 | △15,059 | △8,457 |
| 法人税等の支払額 | △426,812 | △155,323 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,500,978 | 7,186,453 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 15,000 | 100,000 |
| 定期預金の預入による支出 | △1,523,000 | △3,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △232,017 | △343,165 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 9,994 | 10,515 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △327,223 | △143,950 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 100,055 | — |
| その他 | △23,047 | △10,521 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,980,238 | △390,122 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 2,300,000 | 1,570,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △6,750,000 | △7,770,000 |
| リース債務の返済による支出 | △1,240 | △1,580 |
| 株式の発行による収入 | 1,527,005 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △1,324 | △568 |
| 配当金の支払額 | △292,685 | △328,424 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △22,204 | △18,334 |
| その他 | 349 | 595 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,240,100 | △6,548,312 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △7,371 | 2,781 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 273,267 | 250,800 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 655,647 | 601,159 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 928,914 | 851,959 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、園芸用品、家庭用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」、「その他」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

| | 報告セグメント | | | その他（注） （千円） | 合計 （千円） |
|-------------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|
| | 日本 （千円） | インドネシア （千円） | 計 （千円） | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 11,918,652 | 2,106,570 | 14,025,223 | 150,853 | 14,176,076 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 395,620 | 328,668 | 724,289 | — | 724,289 |
| 計 | 12,314,273 | 2,435,239 | 14,749,512 | 150,853 | 14,900,365 |
| セグメント利益又は損失（△） | 6,440 | 358,100 | 364,541 | △14,405 | 350,136 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

| 利 益 | 金 額 （千円） |
|-----------------|-------------|
| 報告セグメント計 | 364,541 |
| 「その他」の区分の損失 | △14,405 |
| セグメント間取引消去 | 74,362 |
| その他の調整額 | △998 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 423,500 |

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係わる重要な減損損失)

| | 日本 (千円) | インドネシア (千円) | その他(注) (千円) | 合計 (千円) |
|------|------------|----------------|----------------|------------|
| 減損損失 | 10,356 | — | 14,643 | 25,000 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(のれんの金額の重要な変動)

| | 日本 (千円) | インドネシア (千円) | その他(注) (千円) | 合計 (千円) |
|-----|------------|----------------|----------------|------------|
| のれん | — | — | 8,985 | 8,985 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(重要な負ののれん発生益)

| | 日本 (千円) | インドネシア (千円) | その他(注) (千円) | 合計 (千円) |
|-------|------------|----------------|----------------|------------|
| 負ののれん | 10,270 | — | — | 10,270 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、園芸用品、家庭用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」、「その他」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

| | 報告セグメント | | | その他（注） （千円） | 合計 （千円） |
|-------------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|
| | 日本 （千円） | インドネシア （千円） | 計 （千円） | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 11,675,183 | 2,132,407 | 13,807,590 | 179,901 | 13,987,492 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 377,387 | 341,522 | 718,909 | — | 718,909 |
| 計 | 12,052,571 | 2,473,929 | 14,526,500 | 179,901 | 14,706,402 |
| セグメント利益又は損失（△） | 406,051 | 343,236 | 749,287 | △1,070 | 748,217 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

| 利 益 | 金 額 （千円） |
|-----------------|-------------|
| 報告セグメント計 | 749,287 |
| 「その他」の区分の損失 | △1,070 |
| セグメント間取引消去 | 54,237 |
| その他の調整額 | △941 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 801,513 |

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(千円)

| 事業区分 | 前第2四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日 | |
|------|--|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 11,150,226 | 78.6 |
| 家庭用品 | 208,432 | 1.5 |
| 園芸用品 | 1,231,324 | 8.7 |
| 防疫剤 | 802,400 | 5.7 |
| その他 | 783,692 | 5.5 |
| 合計 | 14,176,076 | 100.0 |

| 事業区分 | 当第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日 | |
|------|--|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 11,574,928 | 82.8 |
| 家庭用品 | △261,333 | △1.9 |
| 園芸用品 | 1,147,075 | 8.2 |
| 防疫剤 | 795,831 | 5.7 |
| その他 | 730,990 | 5.2 |
| 合計 | 13,987,492 | 100.0 |

| 事業区分 | 前連結会計年度 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日 | |
|------|-------------------------------------|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 15,530,688 | 66.2 |
| 家庭用品 | 2,934,944 | 12.5 |
| 園芸用品 | 2,000,355 | 8.5 |
| 防疫剤 | 1,514,833 | 6.4 |
| その他 | 1,492,336 | 6.4 |
| 合計 | 23,473,157 | 100.0 |

(注) 金額は純売上高（消費税等抜き）によっております。

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

| | アジア | その他 | 計 |
|--------------------------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高（千円） | 2,283,340 | 543,584 | 2,826,924 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | 14,176,076 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 16.1 | 3.8 | 19.9 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド
- (2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

| | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高（千円） | 2,277,332 | 431,880 | 2,709,212 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | 13,987,492 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 16.3 | 3.1 | 19.4 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド
- (2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。